





て久しう安んず可き事なり

夏にウント身軀を作り給ふ

たみ切れたら本が徳の増進なり

又目的なり徳まよ（まよ）

修り出ないものだから徳を引出す

十年以上の有之、今ノ必おそはと棄り

つらむ、十ふかふるも苦に

徳を毒のふりつらむ腹に力を

入るべき、徳を四徳（四徳）

とあるべき、徳を徳に

位有之、一ふ、徳にあかす

先年の事かを止めかす

徳にそよぶ徳のふりおさす

りか、吾雨も徳信人の雨花が

亦一入るべきあはれ

いふこと